

平田オリザさんとのつくる演劇「ワーク」

筑紫野

劇作家の平田オリザさんが講師を務める演劇作りワークショップの発表と、トークイベントが、24日午後1時から筑紫野市上古賀の市文化会館大ホールで開かれる。

ワークショップには中学生から15歳まで35人が参加。5グループに分かれ、平田さんや地元劇団員から演技指導を受けながら2カ月間で作品を仕上げた。当日の発表では「発達障害」や「町ねこ」など異なるテーマの寸劇を披露する。その後、青山学院大の効宿俊文教授の講演「古くて新

しい学びのかたち」や、
丸宿さんと平田さんの対談もある。

主催する「さくねが教育委を考える協議会」の多田直美さんは「受講料議会のメール「kurdyu@helen.ocn.ne.jp」を通じてコミュニケーションを学んでいく。まだ市文化会館大ホールで開かれる。当日の発表を楽しんでもらいたい」と語って